高Ｐ連会報

発行者　宮城県高等学校ＰＴＡ連合会
仙台市宮城野区幸町４－５－１
宮城県青年会館内
TEL・FAX　022－299－4621
E-mail：miyagikopren@ia2.itkeeper.ne.jp
印　刷　創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区春日町８－34
TEL　022－222－0181
発行日　平成30年７月18日（水）

平成30年度県高Ｐ連総会開催
―県連新会長に佐藤泰伸氏（仙台高校）就任―

平成30年６月７日（木）、パレスへいあんを会場に宮城県教育委員会教育次長松本文弘様、宮城県高等学校長協会会長小林裕介様をはじめ多くのご来賓を迎え平成30年度総会が開催されました。平成30年度の役員については、県連会長に佐藤泰伸氏（仙台高校）が選出されました。また、協議終了後には各単Ｐから推薦された69名の方々が表彰されました。霜山前会長には感謝状が贈呈されました。受賞者の皆さまの御功績にこころより感謝申し上げます。

『手をとりあい』

宮城県高等学校ＰＴＡ連合会会長　佐　藤　泰　伸（仙台高校ＰＴＡ会長）

平成30年度、宮城県高等学校ＰＴＡ連合会会長を拝命いたしました、仙台市立仙台高等学校父母教師会会長の佐藤泰伸と申します。昨年度までの、仙台南高校山野前々会長、霜山前会長からの引き継ぎということで、身の引き締まる思いでおります。また、『平成』最後の年をしっかりと締めくくってまいりたいと思います。

さて、平成30年度県高Ｐ連では組織が改編され、仙北支部・本吉支部が合併し、新たに『県北支部』としてスタートいたします。仙塩支部29校、仙南支部16校、大崎支部12校、石巻支部10校、そして県北支部13校、全80校の加盟により運営してまいります。改めまして、どうぞよろしくお願いいたします。

今年の『みやぎ高校ＰＴＡフェスティバル』についてコマーシャルをさせて頂きます。日時は、平成30年10月11日木曜日午前10時から、仙台市太白区にあります『楽楽楽（らら）ホール』を会場に開催されます。各支部からの代表発表や講演等、『フェスティバル（催事・祭礼）』の意味合いを考え、参加者皆様が笑顔になれる内容をと考えております。更には加盟校全体の情報交換の場としてご活用いただくことを願っております。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

最後に、今年度の県高Ｐ連役員一同、手を取り合いしっかりと頑張ってまいりますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成30年度の役員の皆さまです

役職名	氏名	所属校
会長	佐藤泰伸	仙台
副会長	富田ゆかり	仙台西
〃	目黒大輔	角田
〃	五十嵐亮	古川黎明
〃	及川剛	石巻商業
〃	阿部豊喜	岩ヶ崎
監事	加藤修治	蔵王
〃	加藤雄一	古川
〃	氏家園子	佐沼
理事(仙塩)	☆菅田さおり	仙台三
〃	☆畠朋枝	仙台商業
〃	☆尾形康雄	塩釜
〃	金山富彦	仙台一
〃	菅野明彦	仙台二華
〃	福澤諸成	仙台向山
〃	守晶	仙台大志
理事(仙南)	☆門間浩泰	名取
〃	鈴木浩子	亘理
〃	髙橋由紀恵	村田
理事(大崎)	☆佐々木弘美	松山
〃	渡邊広美	鹿島台商業
〃	新田健治	古川工業
理事(石巻)	☆五十嵐剛司	石巻工業
〃	及川裕子	東松島
〃	沼田利恵	石巻西
理事(県北)	☆佐藤達也	本吉響
〃	櫻田進	登米総合
〃	佐藤浩市	迫桜
顧問	霜山清	仙台南
〃	村上礼子	仙台

☆印は常任理事

委員会	健全育成	進路対策	調査広報
仙塩支部	仙台商業 畠朋枝	塩釜 桜井洋美	○仙台向山 福澤諸成
仙南支部	村田 髙橋由紀恵	名取 門間浩泰	亘理 鈴木浩子
大崎支部	◎古川工業 本郷輝朗	鹿島台商業 渡邊広美	南郷 一條良勝
石巻支部	○石巻北 門間義典	◎石巻 髙城裕行	石巻工業 五十嵐剛司
県北支部	迫桜 千葉伸明	○一迫商業 小野昭光	◎気仙沼 小山茂樹

◎は委員長、○は副委員長

事務局長研修会担当校	岩ヶ崎

東北大会発表校	志津川

支部事務局長

仙塩	齋藤つとむ	仙台西
仙南	河野大地	角田
大崎	牛来拓二	古川黎明
石巻	宮浦靖次	石巻商業
県北	佐藤幸三	岩ヶ崎

県連事務局

事務局長	三塚明彦	専任
書記・会計	関谷芳朗	専任
事務局次長	町田尚彦	仙台
書記	佐々木秀男	仙台
〃	長嶺秀久	仙台

主な協議題

①宮城県高等学校ＰＴＡ連合会規約一部改正

・仙北支部と本吉支部の合併に伴う改正と本来は理事会を開催しなければならないのに常任理事会を理事会にかえていたので、通常は会長の判断で常任理事会をもって理事会にかえることができると改正

②県連会費の徴収方法変更

・来年度から県連会費の基準を生徒数から会員数に変更

変更後は　全日制　会員（保護者会員＋教職員会員）× 300 円

定時制　保護者会員× 80 円　＋　教職員会員× 300 円

③東京都公立高等学校ＰＴＡ連合会からの義援金

・義援金 236,000 円をみやぎ高校ＰＴＡフェスティバルの経費の一部にあてる

④総合補償制度の導入

・来年４月から任意加入の高校生総合補償制度を導入、保険会社選定については常任理事会に一任

⑤個人情報保護に関する基本方針と個人情報管理規定の制定

・改正個人情報保護法の制定により、ＰＴＡのような小さな団体も法律の対象となるので全国高Ｐ連の方針で県高Ｐ連も個人情報に関する基本方針と個人情報管理規定を制定

『県連での多くのご縁に感謝』

前県連会長　霜山　　清（仙台南高校前会長）

去る６月７日に開催されました宮城県高Ｐ連総会にて、平成30年度新役員をご承認頂き、会長職を仙台高校の佐藤泰伸会長に無事引き継ぐことが出来ました。

ご承知の通り、平成28年度には東北地区大会が仙台で開催されましたが、その際、私は県連の総務委員として前年度から関わらせて頂いたこともあり、県連では通算３年間の活動をさせて頂きました。この３年間、宮城県内にとどまらず、県内外のＰＴＡ役員の皆さんとの活動を通して、多くの方との新たなご縁を頂いたことは私の貴重な財産となりました。その中で、昨年県連の会長職を拝命してから、何とか実現できればと考えたのが、県内各校のＰＴＡ会長の交流の場を設けることでした。昨年度の終盤になってしまいましたが、何とか常任理事会や総会後に情報交換の場を設けることができ、ご参加頂いたＰＴＡ会長・事務局長の皆さまが、他校の方々と交流することで各校の活動などを少しでも知る機会にもして頂けたのではないかと感じております。

平成30年度の新体制の下、県連の活動が既にスタートしております。今年も10月に予定されております県連最大の行事「みやぎ高校ＰＴＡフェスティバル」をはじめとして、県連の活動が更に充実したものとなります様ご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせて頂きます。

― 各委員会第１回合同会議開催 ―

平成30年６月13日（水）、福島市で開催された東北地区高Ｐ連総会の折、東北地区の第１回各委員会も開催されました。それを受けて県連の各委員会の第１回合同会議が６月21日（木）に仙台ガーデンパレスで開催されました。

会議では、今年度の活動方針や活動計画が協議され、それぞれの委員会活動がスタートしました。特に調査広報委員会は本県が東北地区の担当県にあたり気仙沼高校には多大なご負担をお掛けすることになります。加盟校の御協力をお願いします。

健全育成委員会

調査広報委員会

進路対策委員会

東北大会　第67回東北地区高等学校PTA連合会郡山大会

平成30年７月６日（金）福島県郡山市のビックパレットふくしまで「こころ豊かなたくましい人づくり～変化に対応し、未来を拓く力を～」のテーマのもと、約1,500名が参加して東北地区高Ｐ連郡山大会が開催されました。宮城県からは253名が参加しました。また、開会行事の最後には、表彰式が行われ本県からは９名の方が表彰されました。

開会行事終了後の研究協議では、各県から発表があり、宮城県からは志津川高校の佐藤信一会長が「おらほの学校を守ろう　―震災から７年を経て、本校が取り組むPTA活動―　」というテーマで発表しました。震災から７年を経て、生徒数減少の課題を抱え「町内唯一の高校がなくなる」という危機感を持って、地域と連携しながらのPTA活動を実施していることが紹介されました。

発表後には、PTA総会の80％を超える出席率の理由などについて質問がありました。

午後からは、女子柔道の草分け、世界女子柔道選手権やオリンピックで活躍した山口香氏（現筑波大教授）よる「スポーツの力～子どもたちの未来に向って～」と題した講演がありました。自己の経験と現在の幅広い職務から裏付けされたお話は、説得力ある武道家らしい力強いものでした。

高校生の発表も情報交換会でのフラダンス、大会当日の和太鼓、チアリーディング、合唱など「楽都郡山」にふさわしいレベルの高い内容でした。特に大会フィナーレを飾った郡山市内の高校生350名による合唱と吹奏楽の演奏は圧巻でした。大会運営に携わった福島県高Ｐ連の皆さまと高校生に感謝します。

東北地区高Ｐ連表彰者および広報紙コンクール表彰校

おめでとうございます！

【表彰状】

加藤　智子（仙台三高）
今村　幸栄（蔵王高）
佐藤　圭介（小牛田農林高）
菅野　忠美（登米高）
菅原　健治（志津川高）

【感謝状】

霜山　　清（仙台南高）
一條　一平（白石高）
赤間　廣幸（松山高）
阿部ますみ（登米総合産業高）

【広報紙コンクール】

優秀賞　気仙沼高
　　古川黎明高
優良賞　迫桜高

編／集／後／記　全国高Ｐ連とリクルートマーケッティングパートナーズとの合同調査「高校生と保護者の進路に関する調査」では、高校生が進路を考えるうえで相談する相手は男女とも母親が 80％以上、しかし、７割以上の保護者は進路選択についてアドバイスするのは難しいと回答しています。その理由は、入試制度をはじめに最新の進路情報を知らないこと。また、急激な社会の変化に対応できないことです。保護者の学習の場のひとつはＰＴＡ活動です。積極的に学習しましょう。